



プロデュース
三浦詩乃 & 和田早永

Jsulpまちづくりカレッジ 2019プログラム

PrgNo.2019-003

公共交通のモビリティデザイン

-まちの持続性を育む「移動」を考える-

MaaS、自動運転などの新サービス・新技術から、まちの未来を変えていこうという機運が日々高まっています。テクノロジーの選択肢が広がるからこそ、人間中心のまちのビジョンを描く創造力が求められます。

都市デザインの思考と技術シーズ型思考をクロスしながら、移動可能性を充実させていくことが欠かせません。そこで本講座は、都市の持続可能性を担う基幹公共交通に焦点を当て、多様な専門分野の方々に地域の移動可能性に関する考え方や分析の切り口を身につけていただくことを目的としています。

対象

都市計画系コンサルタント、行政職員、ディベロッパー、交通事業者、学生など、公共交通や交通計画に関心のある方すべて

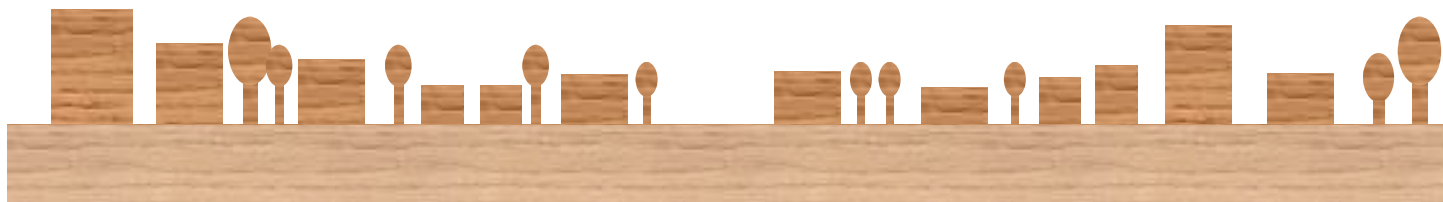
受講料

全4回 一般20,000円／会員12,000円／学生5,000円

◆上記会員は、賛助会員を含みます。
◆Jsulpまちづくりカレッジは、日本都市計画家協会の会員でない方も受講できます。

■プログラム(PrgNo.2019-003)日程 *第3回は土曜日半日・別会場予定

第1回	12月4日(水) 19:00-21:00	
	モビリティデザインとは	講師:中村文彦(横浜国立大学 教授)
第2回	1月8日(水) 19:00-21:00	
	これからの公共交通	講師:中村文彦(横浜国立大学 教授) ゲスト:岡村敏之(東洋大学)
第3回	1月25日(土) 11:00-17:00	
	モビリティ・ライドショッパ (まちあるき)	講師:中村文彦(横浜国立大学 教授) [午前] 湘南台駅集合、連節バス乗車+まちあるき [午後] 横浜国立大学学内会場で作業
第4回	1月29日(水) 19:00-21:00	
	移動可能性のビジョンを描く	講師:中村文彦(横浜国立大学 教授)





プロデュース

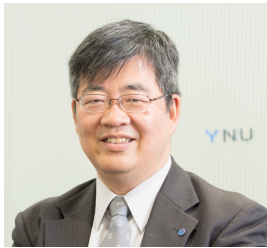


三浦 詩乃
横浜国立大学
助教



和田早永
株式会社アルメック

講師紹介



中村 文彦/横浜国立大学 教授

1991年東京大学工学博士/1989年3月東京大学大学院工学系研究科博士課程中退/1989~95年東京大学工学部助手/1992~94年アジア工科大学院助教授(海外派遣)/1995年横浜国立大学工学部助教授/2004年横浜国立大学大学院環境情報研究院教授/2013年4月~大学院都市イノベーション研究院長/2015年4月~現職/主な著書に『都市交通のモビリティ・デザイン まちづくりと公共交通を中心に』(2017年、サン・ネット)『バスがまちを変えていく~BRTの導入計画作法~』(2016年、共著、計量計画研究所)『60プロジェクトによる 日本の都市づくり』(2011、共著、朝倉書店)『バスでまちづくり』(2006年、学芸出版社)『都市交通計画(第2版)』(2003年、共著、技報堂出版)ほか

ゲスト紹介



岡村 敏之/東洋大学 教授

1999年 東京大学博士(工学)/2005年横浜国立大学大学院 助教授/2012年より現職
/自治体各地の地域公共交通会議委員を歴任、くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員長/国際開発学会,日本福祉のまちづくり学会,土木学会,日本都市計画学会,交通工学研究会,アジア交通学会等研究活動を通し、アジア都市の生活環境改善に向けた都市交通整備の方向性を示す

プログラムの流れ

中村先生のレクチャーを軸にしなが、現場をみんなで歩き、考える機会を設けていきます。

第1回 前半:中村先生によるレク「基礎編」 後半:最終回発表課題について説明、班分けします

第2回 前半:中村先生によるレク「最近の話題+技術編」
後半:ゲスト+プロデューサー対談

第3回 午前:駅-連節バス-大学周辺まちあるき+昼食(メンバー交流)
午後:まちあるきによる診断結果の班別まとめワーク

第4回 前半:発表課題講評会
後半:中村先生によるレク「総括編」

認定NPO日本都市計画家協会

千代田区神田小川町2-10 香取ビルアネックス2階

お申し込み方法

お申し込みはWebで「Peatix」、「まちづくりカレツジ」と検索の上、申し込みフォームに従ってお申し込み下さい。

締切

2019年12月4日(水)
定員30名



会場

City Lab TOKYO
中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン6F
銀座線「京橋駅」直結、東京駅から徒歩8分
<http://tokyo-sg.com>

City Lab
TOKYO

